

～令和5年度『暮らしの講座』を開催しました～



7月29日『暮らしの講座（防災学習会）』を開催し、“地域防災マネージャー”である町総務課危機管理対策室：岡室長を講師に招き、災害への備えの大切さについてお話いただきました。

当日は、36名の参加があり、段ボールベッドの組み立てなど避難所の疑似体験も行いました。



特集

第30回 敬老標語入賞作品 P.2

P.3 今年の敬老標語・講評
第47回 感謝のハガキ送付事業

P.4・5 赤い羽根共同募金

P.6 あずましい余市カフェ／暮らしの講座

P.7 令和6年度助成事業／講演会のご案内

P.8 ふれあいフォトコンテスト作品募集
インフォメーション

講演会のお知らせ

「お互いさまの地域を育むために2023」

10月14日（土）13：30開会

余市町中央公民館 3 階

講師：丸藤 競 氏（函館市地域交流まちづくりセンター長）

発行 社会福祉法人余市町社会福祉協議会

〒046-0011 北海道余市郡余市町入舟町400番地

☎ (0135) 22-3156 FAX (0135) 23-3664

<http://www.yoichi-shakyo.or.jp/>



この広報誌は、社協会費・共同募金助成金・広告料の一部を活用しています。

余市町長賞（最優秀賞）

祖母つくる ご飯の味は 三ツ星だ 黒川小学校 6年 鳥 崎 菜々子
影ぼうし 「大きくなったね」 祖母笑う 東中学校 3年 櫻 田 青 空

余市町教育長賞（優秀賞）

ばばスイカ おいしかったよ ありがとう 沢町小学校 3年 有 光 来 叶
刻まれた 時の数ほど 幸がある 旭中学校 3年 大 物 大 地

余市町校長会会長賞（優秀賞）

おばあちゃん おしゃべり上手 楽しいな 登小学校 6年 森 楓
おばあちゃんの 育てたレタス 食べる僕 東中学校 1年 三 上 和 久

余市町老人クラブ連合会会長賞（優秀賞）

電話かけ 気持ちはずむ 祖父母の声 黒川小学校 6年 黒 澤 太 智
おじいちゃん しわの数ほど 知恵の数 東中学校 3年 川 端 真 央

余市町地域子ども会育成連絡協議会会長賞（優秀賞）

その笑顔 離れていても 忘れない 黒川小学校 5年 渡 辺 紬

余市町民生委員協議会会長賞（優秀賞）

伝えたい 感謝の気持ち ありがとう 黒川小学校 5年 飯 野 結 芽

北海道新聞社余市支局長賞（優秀賞）

わらってる おばあちゃんの 顔が大好き 黒川小学校 3年 池 田 響

余市町社会福祉協議会会長賞（優秀賞）

ふたりとも ながいきしてね いつまでも 登小学校 1年 大 倉 玄太郎



第30回 敬老標語入賞作品決定!!

毎年9月の「敬老の日」にちなみ、多年にわたり社会に尽くしてきたお年寄りへの感謝の気持ちから実施してまいりました敬老標語の募集も今年で記念すべき30回目を迎えました。今回も、小・中学校より多数の応募があり、審査の結果入選作品が次のとおり決定しました。尚、昨年から応募作品数との兼ね合いから、中学校の入賞作品数を4つに縮小しています。（敬称略）



会員募集

健康で働く意欲のある
余市町在住で60歳以上の元気な方
募集してます。

空いた時間で短期の就業。あなたのライフスタイルに応じた働き方ができます。

高年齢者の知識・経験を活かして働ける

公益社団法人

余市町シルバー人材センター

就業のご相談はお気軽にお問合せ下さい

☎22-7641 FAX.22-7642

余市町黒川町5丁目22番地

<http://www.yoichi-sc.or.jp/>



第30回 敬老標語審査委員長・講評



余市町校長会会長
轟木耕一氏
(大川小学校校長)

余市町社会福祉協議会主催の敬老標語作品の募集が、数えて30回目の節目を迎えました。これまで、長きに渡りこの取組に御尽力を賜りました関係者の皆様に、心から敬意と感謝を申し上げます。さらには、ここ数年間のコロナ禍にあつて、様々な活動に制限がかかる中、これらの事業を中断することなく継続されたことに、頭が下がる思いです。

我が国が、「少子高齢化」と言われるようになってから、かなりの年月が経過しましたが、その流れに歯止めがかかるどころか、さらに拍車がかかった状況が続いております。このことは、取りも直さず、「敬老葉書」の受け手が増加し、書き手が減少している「ことに他なりません。次世代を担う子どもたちに、「敬老精神の大切さ」を教えるべく、我々大人の責務であると強く感じております。また、年賀状発行枚数の大幅減少に表れているように、「若者の活字離れ」も、近年、叫ばれるようになってまいりました。事実、作文や弁論など、学校現場におきましても、作品数を揃えることに苦慮しているのが現実です。しかしながら、日本の伝統文化を絶やすことなく、後世に残していくためにも、このような取組は、大変貴重であると思います。

さて、今年の標語作品も力作揃いでした。小学校の部で最優秀賞(余市町長賞)を授賞した、「祖母つくる ご飯の味は 三ツ星だ」からは、おばあちゃんが作ってくれたご飯を美味しく食べる作者の笑顔が見えるようでした。「美味しい」を「三ツ星」とした表現も秀逸であり、各審査員から高評価を得ました。

中学校の部で最優秀に輝いた、「影ぼうし 大きくなったね 祖母笑う」からは、孫の成長に目を細める、おばあちゃんの笑顔が浮かんできます。成長期でもある中学生は、しばらく見えない間に飛躍的に身長が伸びるものです。それを「影ぼうし」で表現しているところが素晴らしい作品でした。どちらも、読み手が「ほっこりする」作品であり、読ませて頂いたこちら側も嬉しくなりました。どの作品からも、祖父母に対する感謝の思いや、優しさが伝わってきました。短い言葉の中に、自分の思いを込め、読み手を感動させる、このような取組がこれからも末永く続きますよう祈念し、講評といたします。



最優秀賞 (余市町長賞)



小学校の部
黒川小学校6年
鳥崎菜々子さんとお父さん

祖母つくる
ご飯の味は 三ツ星だ



中学校の部
東中学校3年
櫻田青空さんとお母さん

影ぼうし
「大きくなったね」祖母笑う

第47回 敬老の日・感謝のハガキ送付事業

77歳以上の高齢者3,256名(2,762世帯)の方へ、
長寿をお祝いする感謝のハガキが届けられました。

今年も“敬老の日「感謝のハガキ」を送る事業”が町内の小中学校7校の児童・生徒の協力を得て実施されました。毎年9月の「敬老の日」にちなみ、余市町地域子ども会育成連絡協議会が各学校へ依頼し取り組んでいます。

【主催】 余市町地域子ども会育成連絡協議会
事務局: 余市町青少年対策室(中央公民館内)

【共催】 余市町社会福祉協議会

※この事業は、多くの皆様から寄せられた赤い羽根共同募金からの助成を受けて実施しています。



運動期間

10月1日

12月末日

赤い羽根共同募金

令和5年度目標額

2,100,000円

今年もご協力お願いします

募金を集めるのにも理由があります。それが計画募金です。

赤い羽根共同
募金の目標額

「赤い羽根共同募金」は、事前に地域内の社会福祉施設や社会福祉団体、NPOやボランティア・市民団体などの各種活動に必要とされる資金ニーズを勘案し、使いみちの計画を立ててから募金活動を行う「計画募金」です。共同募金は「各地域で様々な福祉活動を行うために最小限度必要な額」を基に、あらかじめ“使いみちの計画”を立てることが義務付けられていることから、計画に必要な総額が「全道で今年は最低これだけの資金が必要」ということになり、これが「目標≦寄付期待額（目安額）」になります。

3～5月

助成計画と
目標を立てる



助成計画をたて、要望を実現するために必要な金額を「目標額」として決め、募金活動の準備に取りかかります。

10月1日

募金活動が
一斉にスタート



全国各地で10月1日から赤い羽根募金、12月1日から歳末たすけあい募金運動が始まります。

翌年度に
向けて

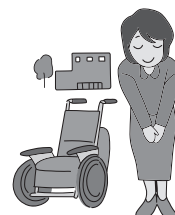
福祉団体から
申請を募集



社会福祉施設や団体、ボランティアなどから、助成が必要な福祉活動の申請を募集し、配分委員会等により申請内容を調査、検討します。

翌年4月

集計後
募金は助成先へ



寄付金額を勘案し、助成先と助成金額を決定します。4月に助成金が交付され、道内の福祉活動に使われます。

募金で
協力いただいた
募金の使いみち

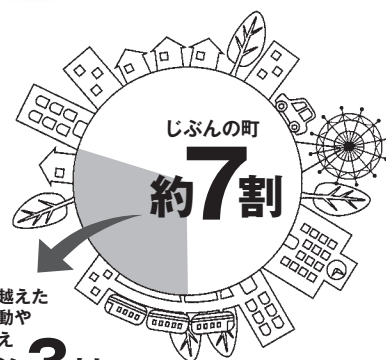
皆様から寄せられた募金は、高齢者、障害者、子ども達などへ地域の福祉活動を支援するために役立てられています。また災害発生時には、募金の一部を災害等準備金として、被災地での災害ボランティアセンターの開設・運営などにも役立てられています。

募金の約7割は、
あなたの町を良くする
ために使われています。

誰かのためにと
募金をしたら、
自分たちの町のため、
募金でもありました。
町の人みんなで集めた募金は、
じぶんの町を良くする
活動に使われています。

市区町村を越えた
広域での活動や
災害時の備え

約3割



年中
無休 24時間
営業

お客様の想いに寄り添い、
まごころを込めた葬儀をお届けします。

24時間365日ご利用可能な安置施設を完備

(有) 余市葬祭社

中道造花店

余市町黒川町12丁目83-4(本社)

☎22-3254 FAX 23-4241



もしものとき安心と信頼の全国ネット
if共済会取扱加盟店

●経済産業大臣認可 全国葬祭業協同組合連合会
●国土交通大臣認可 全国霊柩自動車協会 加盟店

葬儀専用式場

中道すすらんホール

住宅型御安置施設

中道すすらんホール 別館 和 なごみ

余市町黒川町13丁目10-1 ☎21-4499

家族葬・法要式場

中道さくらホール大川

余市町大川町3丁目79 ☎48-9494

募金は、
未来へつづく。

共同募金運動は、戦後間もない昭和22年（1947年）に「国民たすけあい運動」として始まりました。

「困ったときはお互いさま」の気持ちから、第1回目の共同募金運動ではおよそ6億円の寄付金が寄せられました。現在の貨幣価値にすると、1,200億円に相当するといわれています。

現在では、「社会福祉法」に定められた地域福祉の推進を目的に、さまざまな地域の課題に取り組む民間団体を支援する「自分の町を良くするしくみ。」として、地域のさまざまな福祉活動を支援しています。

今年もご協力よろしく願いいたします。

余市町共同募金委員会では、「ご当地ピンバッジ募金」を実施しています。500円以上の募金でピンバッジを1個進呈しています。

余市町社会福祉協議会
(入舟町400)

エルプラザ(黒川町5-43)でピンバッジ募金ができますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



余市町共同募金委員会

余市町入舟町400番地

TEL 22-3156

FAX 23-3664

令和4年度 共同募金運動結果報告 (余市町)

令和4年度も余市町内の皆さまからのあたたかいご支援の気持ちと、たくさんの募金が寄せられました。

ご協力ありがとうございました



第76回 赤い羽根共同募金運動

【取扱い期間】 令和4年10月1日 ▶ 令和4年12月31日

令和4年度共同募金総額 **3,196,614円**

赤い羽根共同募金 1,937,400円

歳末たすけあい募金 1,259,214円



令和4年度共同募金結果

募金区分	実績額
① 戸別募金	1,705,897円
② 法人募金	48,100円
③ 学校募金	50,176円
④ その他	133,227円
合 計	1,937,400円

皆さまから寄せられた募金のうち、**85万1,400円**は「余市町社会福祉協議会」を通じ、次のとおり令和5年度に於いて、様々な地域福祉活動推進のため有効に活用されます。

令和5年度余市町社会福祉協議会／地域福祉事業（共募助成分）

事業区分	予算額	%
・高齢者福祉のために	73,000円	8.6%
・障害者（児）のために	13,000円	1.5%
・児童・青少年福祉のために	30,000円	3.5%
・ボランティアの育成・活動支援のために	318,000円	37.4%
・地域福祉活動のために	417,400円	49.0%
合 計	851,400円	

令和4年度 歳末たすけあい募金結果 【運動期間】12月1日 ▶ 12月31日

募金総額 **1,259,214円**

集められた募金は、一旦「北海道共同募金会」で集約され、翌年度、計画に基づき必要な金額を申請の上、余市町共同募金委員会へ助成されます。

令和4年度
内訳

・歳末見舞金の贈呈 342,000円
・地域福祉サービス基盤整備事業 129,653円
・社会福祉団体、NPO法人などへの支援 650,000円
・歳末たすけあい運動にかかる経費 85,206円
合 計 1,206,859円



あずましい余市カフェ 開催

7月27日（木）中央公民館で「あずましい余市カフェ」を開催しました。

当日は、ゆる元初級指導者の皆さんによる「ゆる元体操」、赤十字奉仕団による「音楽療法」を行い、参加者の皆さん、運営ボランティアや関係機関の皆さんとの交流で楽しい時間を過ごすことができました。



7月27日に開催した「あずましい余市カフェ」の様子

次の開催は11月の予定です

※日時：11月（日程は調整中）13:00～15:00

※会場：余市テラス（コープさっぽろ余市店隣）

今回は、余市紅志高校ボランティア局の皆さんの企画・運営で実施します。高校生の皆さんと一緒に楽しい時間を過ごしませんか？

※詳しい日程が決まり次第、本会ホームページ等でお知らせします。

令和5年度 暮らしの講座 開催

7月29日（土）「暮らしの講座」を開催し、今年は「防災学習会」として、町総務課危機管理対策室職員の協力のもと、「いざという時の備え」に関する講話と段ボールベッドなど避難所の資機材を使った「避難所の体験会」を行いました。

町民36名が参加され、災害に備えた「家庭備蓄」の方法などを学び、段ボールベッドの組み立て方など避難所の生活を体験しました。

参加者の声



- ・段ボールベッドなど手早く作れてとても良かったです。(80代女性)
- ・とてもわかりやすく、聞きやすい説明でした。(50代女性)
- ・防災に関する備えは参考になりましたが、住民に対する情報を伝える防災無線の設置が重要と思います。(80代男性)

非常食（備蓄品）の説明



段ボールベッドの組み立て



令和
6年度

地域福祉活動助成事業のご案内

公募による応募団体募集のお知らせ



よいち社協では、町民の皆さまからお預かりした社協会費や寄付金、共同募金からの助成金等、貴重な浄財を主な財源として、余市町内で活動するボランティアグループや福祉団体に対し助成を行い、活動の支援を行うことにより地域福祉の推進を図っています。

令和6年度応募団体を募集いたしますので、次の応募要領をご参照のうえ申請して下さい。

応募要領 (概要)

① 対象団体	・余市町内で1年以上継続した活動実績のあるボランティア団体等 ・構成員が5名以上で代表者や会計責任者を定めていること ・法人格を有する団体でないこと（NPO法人は除く） ・宗教、政治、営利活動を目的とする団体でないこと
② 対象事業	高齢者、障害者、児童等の福祉の向上を目的とした自主的・積極的な活動に資する事業
③ 助成金額	1団体につき事業費の3分の2以内で上限額3万円
④ 申請方法	申請書に必要な書類を添付して、11月30日(木)までに提出して下さい。 ※応募要領・申請書の様式は、本会ホームページからダウンロードできます。 http://yoichi-shakyo.or.jp/

提出先・問合せ先

余市町社会福祉協議会

〒046-0011

余市町入舟町400番地

☎22-3156

令和5年度 余市町生活支援体制整備事業 講演会のご案内

お互いさまの地域を育むために2023

昨年に引き続き、函館市地域交流まちづくりセンター長 丸藤競（きそお）氏を講師に迎え開催します。丸藤氏は“さわやか福祉財団北海道ブロックインストラクターリーダー”も兼ねており、丸藤氏のレクチャーのもと、当財団が作成した「助け合い体験ゲーム」を体験していただきます。みなさんで地域における助け合い・支え合い活動を考えてみませんか？

日時：10月14日(土) 13:30開会
場所：余市町中央公民館（大川町4-143）

定員：50名

申込：10月6日(金)までによいち社協（22-3156）
へお電話でお申し込みください。

参加
無料



昨年開催した「お互いさまの地域を育むために2022」の様子



OOHASHI PRINTING

デザイン!

事務用品!

印刷以外もおまかせ!

株式会社 **おおはし**

〒046-0004余市郡余市町大川町14丁目14番地
TEL 0135-23-4591・FAX 0135-22-3600

E-mail: oo84@cocoa.ocn.ne.jp

2023

ふれあいフォトコンテスト 作品募集!

【応募締切】10/31 (火) ※当日までに必着

今年は「ふれあい」をテーマに、家族への感謝や家族団らんのひととき、子育てを支え合う様子、お年寄りの生き生きとした姿や生活の様子など、思い思いに「ふれあい」をイメージした写真をご応募ください。見る人の心に響く感動的な作品をお待ちしています。

【募集要項】

- ✦ テーマ / 「ふれあい」
- ✦ 被写体 / 家族、子供、高齢者 ※被写体となっている人に必ず応募の承諾を得てください。
- ✦ 作品規格 / 応募者本人が撮影（過去1年以内）した未発表の作品。
カラープリントでサイズは2L版(127mm×178mm)に限る。
撮影画像の加工・合成等の修正した写真は不可。
トリミングは可。写真に日付が入らない様にして下さい。
- ✦ 応募資格 / 余市町在住又は在勤の18歳以上の方
- ✦ 応募先 / 〒046-0011 余市町入舟町400番地 余市町社会福祉協議会内
「ふれあいフォトコンテスト」係 ☎22-3156
- ✦ 入賞 / 【最優秀賞】1名様：1万円商品券・記念品
【優秀賞】2名様：5千円商品券・記念品
【審査員特別賞】2名様：3千円商品券・記念品
- ✦ 入選発表 / 11月をめどに審査し入賞者へ通知します。

※詳細については、町内公共施設に備え付けのチラシをご覧ください。

本会ホームページからもダウンロードできます。http://yoichi-shakyo.or.jp/

【主催】社会福祉法人余市町社会福祉協議会 【共催】子育てサポートセンター

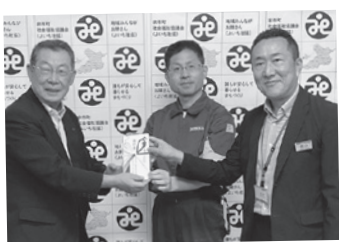
ご寄付いただき ありがとうございました

令和5年6月～9月

皆様のご寄付は福祉のまちづくり推進のため、有効に活用させていただきます。

- 安部 正昭 様 (小樽市入船4丁目5-5) 30,000円
- ニッカウキスキー株式会社 北海道工場 様
ニッカディステイラリースervice株式会社 様
100,000円

(社会貢献活動の一環 / ニッカ版エコマイレージ活動)



心配ごと相談のご案内

ひとりで抱え込まないでまずはご相談ください。お電話でもかまいません。

相談員があなたの“不安”を受け止め、親身に解決方法を提案いたします。

【相談日時】毎月2回 13:00～16:00

【会場】余市町福祉センター入舟会館

【申込み】余市町社会福祉協議会

☎22-3156

～今後の相談日～

10月11日・25日 / 11月8日・22日

12月6日・20日 / 1月10日・24日

2月7日・21日 / 3月6日・21日

